

木部の質感を変えない ウッドガード

木材の呼吸を妨げず、強固な撥水・防汚・抗菌シールドを形成。
天然木本来の風合いと質感を極限まで維持するプロ仕様の保護剤。

WOOD GUARD

1 風合いそのまま

皮膜を作らず木肌に深く浸透。
テカリやテクスチャの変化がなく、無垢材本来の触感をしっかりと残します。

2 呼吸する撥水層

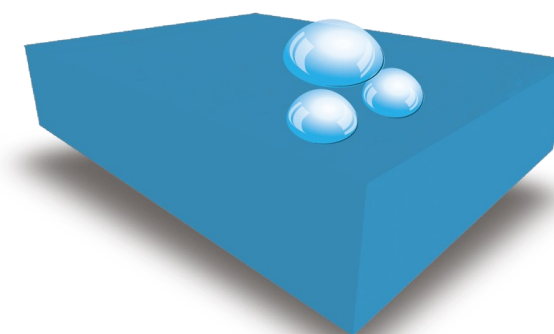
水滴は弾きながら、木の呼吸（湿気の放出）を妨げません。
カビ・コケ・腐食の根本原因を抑制します。

3 低臭・作業性抜群

施工時の不快な溶剤臭を抑えた低臭タイプ。刷毛やローラーで塗るだけの簡単な1度塗り施工仕様です。
※拭き取り作業は必要です。



ウッドガードが素材内部に浸透し、表面は撥水します。



コーティング
イメージ

【施工前後比較】 ウッドガードの驚異的な防汚・撥水シールド効果

Before / 未施工

水と汚れを吸い込む無垢木材

保護膜がないため、水分が汚れ（埃やカビ孢子など）を伴って木材内部まで深く浸透。シミや黒ずみが定着し、急速に木部を劣化させます。



- ✗ 毛細管現象により、水滴とミクロな汚れが内部に深く浸透
- ✗ 乾きにくいいため、カビ、コケ、腐食が繁殖しやすい劣悪な環境に

After / 施工後

水を弾き、汚れを寄せ付けないシールド効果

フッ素シリコーンが細胞内壁に撥水バリアを形成。水滴は球状のまま表面で浮き、付着した汚れも水とともに簡単に転がり落ちます。



- ✓ 優れた接触角を持つ撥水シールドが、水分や液体汚れを強力に反発
- ✓ 表面に付着した埃や汚れは水滴と共に簡単に流れ落ちる（自己洗浄効果）

驚異の耐久性を引き出す 3ステップの標準施工方法

STEP 01

下地調整・完全乾燥

施工面の汚れ、油分、木粉、毛羽をしっかり洗浄・除去し、表面を完全にクリーンな状態にします。



⚠ 超重要注意：

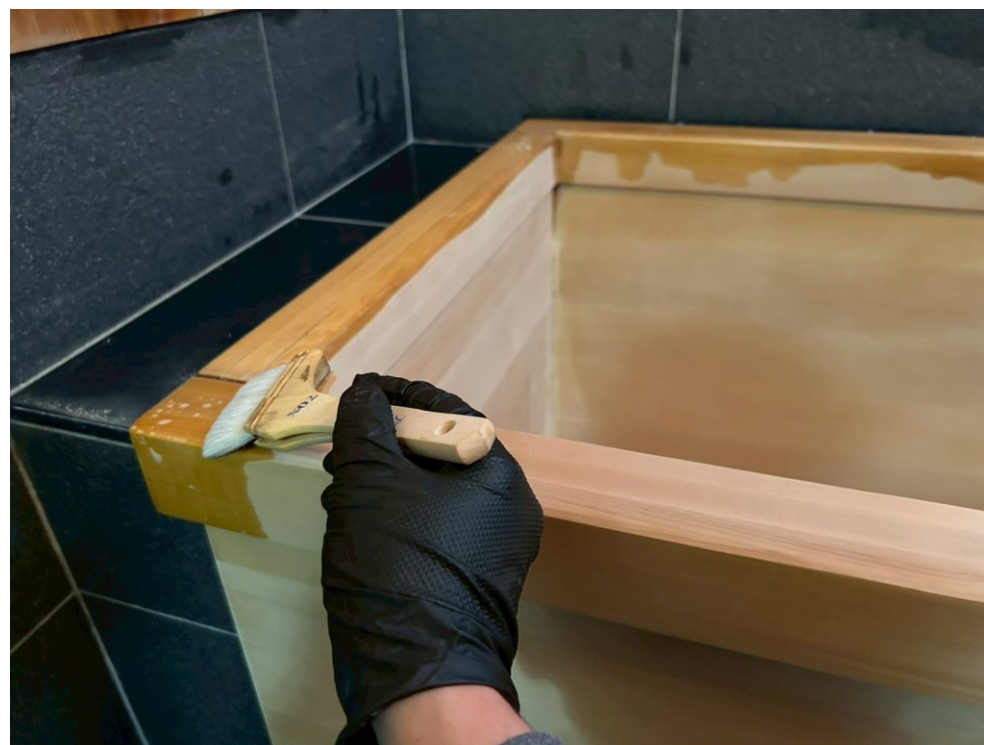
濡れた状態や木材内部に湿気が残っていると、ウッドガードが内部まで浸透しません。必ず十分に乾燥させてください。

STEP 02

たっぷり塗布・拭き取り

表面が完全に乾燥していることを確認し、刷毛やローラーを使用してウッドガードをたっぷりと均一に塗布します。

放置時間: 10～20分



💡 余剰分の拭き取り：

塗布後10～20分放置したのち、浸透しきれず表面に残ったウッドガードの液（余剰分）をウエス等で必ず拭き取ってください

STEP 03

水濡れ厳禁（養生期間）

基本的には1度の塗布で十分な効果を発揮します。施工直後は濡れ色になりますが、約1日でほぼ元の色相に戻ります。

水濡れ厳禁: 12時間 完全硬化: 2日以上



☔ 養生時の注意点：

施工後12時間は雨や水がかからないようにしてください。完全硬化までは最低でも2日間以上の乾燥が必要です。

製品仕様詳細・樹種別の特徴と取扱注意事項

製品概要・スペック

商品名	マイクロシーラー ウッドガード
用途	天然無垢木材（家具、建具、床材、柱等）の 表面強化・撥水・防汚
成分	フッ素、シリコン、イソプロピルアルコール （IPA）、特殊抗菌剤
塗布目安	1Lあたり 10～20㎡ （※素材の吸水率により変化します）
硬化時間	完全硬化：2日以上 （水濡れ厳禁：最初の12時間）
取扱区分	消防法：第4類第1石油類（火気厳禁） / 第2種有機溶剤

 針葉樹と広葉樹の塗布量目安の違い

スギなどの針葉樹（柔らかく軽い木材）：
導管が太く塗料の浸透量が多いため、吸い込み速度も早くなります。標準目安よりも塗布量を多めに調整して施工してください。

広葉樹（硬く重い木材）：
繊維密度が高く塗料の浸透量が少ないため、吸い込み速度は遅くなります。表面に余った液のウエス拭き取りをより確実に行ってください。

 事前テストと安全な取り扱い

濡れ色と事前テスト：
塗布直後は表面が濃い「濡れ色」になりますが、約1日ほど経過すると元の自然な木肌色に戻ります。木部との相性を確認するため、**必ず事前に目立たない場所でサンプル施工を行ってください。**

安全対策及び注意事項：
施工時は火気を完全に遮断し、十分な換気環境を整えて作業にあたってください。また、サウナ等の内部が高温になる設備がある場合、2～3日溶剤臭が抜けない場合がございますので、ご使用まで最低3日は空けてください。換気が整っている環境であれば、1日で臭いは消えます。